

ニコッと通信

nicotto tsu-sin!



ニコっちゃん

2003.7.15

第2号

発行／
ぐんまこどもの国児童会館



プラネタリウム新番組

マーズツアーへようこそ

投影期間

9月7日(日)まで

平日 (11:00～)*、15:20～

土日・祝日 13:10～、15:50～

*平日11:00～は夏休み期間中(7月23日～8月29日)のみ、臨時投影します。

世界初の火星
ツアーに出発！
火星について楽
しく学びながら
旅をしよう。火星
から見る星空は
どんなかな？そ
してツアー行
を待ち受けるハ
ブニングとは？！



夏休み特別企画

～さわって たのしい 数あそび～

「ラ・ビレット展」

「数」って「算数」のこと？苦手な
あ。そう思ったらぜひ来てみてくだ
さい。今まで知らなかった、楽しい「数」
の世界を、積み木、パズル、シャボンな
どをつかって体験してみましょう。こ
の夏「数博士」になれるかな。



開催期間

7月26日(土)～
8月31日(日)

時 間:9:30～17:00

会 場:多目的ホール

〈共催〉日本科学技術振興財団

ぐんまこどもの国 第12回 夢大賞 作品募集

募集期間

8月1日(金)～
9月7日(日)必着

次世代を担う子どもたちが未来にみる夢を募集します。

■募集種目・テーマ・内容 絵 画 「ぼくの夢、私の夢」四ツ切り画用紙
創作童話 400字詰原稿用紙 10枚以内

■応募資格 群馬県内に居住又は通勤・通学する方

■表彰等 最優秀賞、金賞、銀賞、銅賞、奨励賞を設け賞状等をお贈りします。
なお、表彰式は11月16日(日)、入選作品展を11月16日(日)～
11月30日(日)に予定しています。

■応募方法 所定の応募用紙等に必要事項を記入のうえ、当児童会館に郵送また
は持参してください。

全天周映画

オーシャンオアシス
絶賛上映中!!



休館日

7月…7(月)・14(月)・22(火)・28(月)・31(木)

8月…4(月)・11(月)・18(月)・25(月)

9月…1(月)・8(月)・9(火)・10(水)・16(火)・22(月)・29(月)・30(火)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480

TEL.0276(25)0055 FAX.0276(25)0059

URL <http://www.sunfield.ne.jp/~kodomo01/>

ママはうちの 歯医者さん

●●エンゼル相談室 ママのセミナーより●●

エンゼル相談室ママのセミナーは、乳幼児の保護者を対象に子育てに関する講義及び実技・実習を行い、日頃抱えている不安や疑問の解決を図るために実施しています。今年度は7回実施する予定です。

5月22日(木)は、太田保健福祉事務所 歯科衛生士 戸間和子先生をお迎えして『ママはうちの歯医者さん』と題し行われました。

参加者は0～3歳までの子を持つお母さん方でした。まず乳幼児の歯の写真をを見せていただき、説明がありました。(資料から)



歯が生え始めたら、歯磨きの始まりです。最初は磨くというよりも洗い流す感じで、お子さんもお母さんも機嫌のいい時に始めましょう。下の歯より上の歯を中心に磨いてください。下の前歯はよだれと一緒に細菌も流れてしまいます。お子さんが歯ブラシに興味を持ち始めて自分で持てるようになったら、歯ブラシを2本用意します。1本はお子さん専用にして歯ブラシを持つ習慣をつけてあげましょう。もう1本は仕上げ用にお母さん専用に使います。3歳になったら幼稚園・保育園の準備のために朝晩2回の歯磨きを少しずつ習慣づけていきましょう。

最後に親子一緒に実際に歯ブラシを持

って歯磨き指導を受けました。みんなの前でやってくれたお子さんたちは、歯磨きを嫌がらない子でしたが、口の周りを触られるのを嫌がる子も多いようです。

まず、お母さんの膝の上に頭を乗せて寝かせてあげましょう。歯磨き前にスキンシップでにらめっこ遊びなどをしながら口の周りをたくさん触ってあげるといいそうです。奥歯から磨き始め、10数えて歯ブラシを抜きます。歯ブラシをいれている間お子さんは息を止めているそうなので、部分ごとに抜いてあげましょう。

お母さんからは、噛み合わせや、歯がはえる順番などについて

質問がありました。歯のはえかたについては、心配されるお母さんも多いようですが、3歳ごろまでに20本がそろえば問題ないそうです。それよりも生えてきた歯を虫歯にしないように習慣づけましょうということでした。

「8020(ハチマルニイマル)運動」をご存知ですか？



お口の中のバイ菌も見てみました。

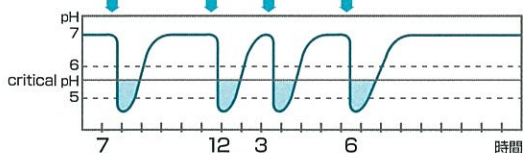
健康な自分の歯が20本以上(永久歯は全部で28本)残っていると不自由なく食事を楽しむことができることから、80歳まで20本の歯を残そうという運動です。お子さんの歯とともに家族みんなの歯も大事にしましょう！



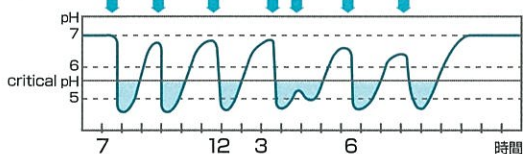
お母さんから離れて遊ぶお子さんは託児をしました。

甘いものとむし歯の関係

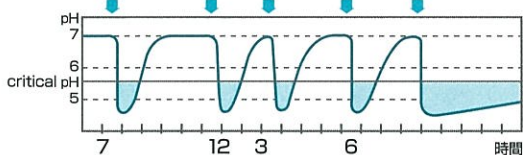
■ 食べたり飲む回数が少ない人(1日4回)の場合



■ 食べたり飲む回数が多い人(1日7回)の場合



■ 寝る前に飲んだり食べたりしたまま寝た場合



★食べ物(特に甘いもの)が入ってくると口の中のpHは酸性(むし歯になりやすい状態)にかたむきます。

しかし、その後食べないでいると唾液により中和されていきます。

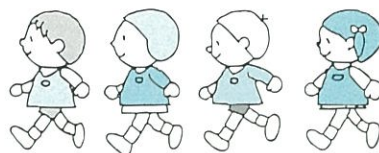
★歯はpH5.4を境に脱灰(エナメル質表面を溶かす)と再石灰化(元に戻ろうとする働き)を繰り返しています。

★甘いものを食べる回数が多いほど又、食べている時間が長いほどむし歯になりやすいといえます。甘いものをちょっとだけがまんしてみよう。

★おやつは時間や量を決めて食べましょう。ダラダラ食いをやめ規則正しい生活リズムをつくりましょう。

★乳酸菌飲料やジュース類などの甘い飲物やスポーツドリンク、xxウォーターなどではなく、水、お茶、牛乳など甘くない飲物をあげましょう。

遊びが子どもを育てる



—「遊ばない、遊べない、遊びを知らない」を考える—

元気に遊んでいる子どもたちには、無気力・無感動・無責任・自己中心的で協調性がない・困難なことに対してねばり強くがんばれない・自分の考えで活動する主体性に乏しい、というような側面があまり見られないと言われています。

自分が興味や関心をもったことに関して、自分から進んで楽しむための活動が、遊びです。したがって、遊びには、子どもたちは意欲的に取り組み、それが楽しくっておもしろいがゆえに、一つ一つに感動し、友だちと仲よく、また、楽しく遊ぶために自分勝手な、無責任な態度をとることなくルールを守り、楽しい遊びを繰り返したり一層楽しく快適に活動しようと工夫する。たとえ、困難な問題にぶつかっても、それを乗り越えて一層の充実感を得ようとするなど、子どもの成長発達過程の中で、とても貴重な体験となるのが遊びです。そこで、子どもの成長にとって大変重要な遊びについて一緒に考えてみたいと思います。

①「動き回りたい+知りたい欲求」と遊び

空腹になったら、赤ちゃんはおっぱいを飲みたいという欲求が自然に出て本能的におっぱいを飲みます。疲れれば、指示されなくても眠ってしまいます。このような生理的な本能的欲求と共に、子どもは成長するにしたがって、次々に新しい欲求が出てきます。その一つが活動欲求といわれるものです。すなわち、子どもは、成長過程にある時は、動き回りたいという基本的な欲求をもっているのです。動き回ることによって、それまでできなかったことができるようになったり、へただったことが上手になったりして発達する仕組みになっているのです。さらに、人は、知的欲求とか知的好奇心といわれる本能的欲求をもっています。成長と共に、いろいろなものごとに、「あれ、なんだろう」、「これ、なんだろう」というように、強い興味、関心を示すようになってきます。この活動欲求と知的欲求とが重なって動き回りながら、「あれなに?」、「これなに?」と興味・関心をもつ、探索欲求になるのです。この探索欲求に基づいて、興味をもった物に触ったり、いじったりする探索行動が出てくるのです。

押したり、ひっぱったり、手に持ったり、操作したりというように、探査行動をしながら、ものごとを確かめ、その動きや変化に驚き、体験を積み重ねることになるのですが、その中で、自分の能力の範囲内で、気持ちがよい、楽しい、おもしろいというように、快適な感情体験を伴う活動がいわゆる遊びと言われる行動なのです。このように、遊びという行為は、子どもにとって、ごく自然な本能的欲求に基づいて発生してくる行動なのです。

②「好かれない+認めてもらいたい欲求」と遊び

小さな子どもの本能的欲求には、他に、愛したい、かわいがりたいというような能動的な愛情欲求と、愛されたい、好かれない、かわいがられないという受け身の愛情欲求とがあります。年齢の幼い子どもの愛情欲求は、後者の受動的な欲求が中心となります。

さらに、自分の存在を認めてもらいたい、自分の方に関心を示してもらいたいという、自己顕示欲求があります。先の受動的な愛情欲求と自己顕示欲求とが一緒になると自分の存在をよりよい状態で認めてもらいたいという社会的欲求となるのです。この社会的欲求が満たされると、子どもは、どのような活動であっても快適な感情体験を伴うので、そのすべての行為が遊びに転化してしまいます。子どもが、できれば避けようとするおもちゃの片付けも、清掃も、国語、算数の勉強も、大人から注目され、褒められ、認められることによって、子どもはうれしく、おもしろく、快適に感じ、同じ行為を繰り返し行おうという気持ちが出てきます。やって快適な感情体験をもつものは、その行動の内容がなんであれ、いわゆる遊びなのです。

③遊びの効果

遊びは、本来、だれもがもっている本能的な欲求を満たす活動なのです。本能的な欲求が満たされなければ、だれでも欲求不満の状態になり様々な問題が出てしまいます。快適であれば、ますます繰り返してみたい気持ちが強くなり、遊びの中で、少しぐらい困難な問題に直面しても乗り越えられるのです。この乗り越えようとする「強い意志」や、工夫し解決する「問題解決能力(実践力)」は、快適な体験の継続や繰り返しから身に付いてくるのです。こうした心の働きは、促成栽培的に手取りばやく身に付けるというわけにはいかず、時間をかけて、自らの体験を通して、自ら身につけていくものです。

したがって、「遊ばない、遊べない、遊びを知らない」子どもたちは、困難な問題に直面した時に、それを乗り越えようとする心の動きが十分に発達しない危険性があるのです。

遊びは、楽しいがゆえに繰り返し行います。なにことも楽しい活動を意欲的に繰り返し行うことにより、できなかったことができるように発達するのです。遊びは、やはり大切な活動と言えるでしょう。

そこで、「一緒に遊ぶ仲間・友だちがいない」、「遊ぶ時間や場所がない」、「大人が相手になる余裕がない」等の難しい問題を一つ一つ改善していく工夫を関係者間で一層図っていききたいものです。

●参考：小山一宏著「あの子が、なぜ?」(子どもの遊びと心の理解)
全国児童館連合会編 1996年

夏休み こども学習相談 (保護者の方へ)

ぐんまこどもの国児童会館 こども相談室では、夏休みの宿題のことや勉強のことなど、お子様のための学習相談をおこなっています。

日時：7月19日(土)～8月31日(日) 毎週 火～日曜日

※毎週、月曜日と7月22日(火)・31日(木)はお休みです。

9:30～17:00(受付は、16:30まで)

■直接ご来館するか、お電話でご相談ください。

TEL.0276-25-0055

ぐんまこどもの国児童会館 こども相談室 学習相談係

お子様からのお電話をお待ちしております。保護者の方からもぜひお話しください。

いきいき ボランティア (親子で活躍編)

松本伸二さんと寛昭さん・亜祐美さん

今回は松本さん親子にお話を伺いました。お父さんの伸二さんはおもちゃの病院、息子さんの寛昭さんはビデオライブラリー、娘さんの亜祐美さんはサイエンスワンダーランドに登録しています。

ーこどもの国のボランティアを始めたきっかけはなんですか？

伸二さん(以下、伸):子供の頃は、ラジオや時計を分解しては、親に怒られていました。その当時のラジオは真空管で動作しており、高価なものであった(今の価値では5万円位かな?)。そのようないたずらが大好きな性格のためか?壊しては組み立てる楽しみが忘れられないまま大人になってしまった様な、普通のお父さんでした。

こどもの国には、開園当初から子供を連れて遊びに来ていました。次第に子供も大きくなり訪問しなくなりましたが、そんな折、おもちゃの病院養成講座が開催される事を広報で知り、私の経験を生かせるのではないかと(ブレークイットの子供の気持ちを理解しているつもり?)、興味半分で応募したのがきっかけです。

寛昭さん(以下、寛):父が活動してるのを見て自分もやってみようと思いました。亜祐美さん(以下、亜):幼い頃から家族で児童会館を利用させていただき、私も大きくなったら児童会館でお世話になったやさしいお姉さんたちのようになりたいと思っていました。そして、父がボランティアをしている姿を見て、わたしもぜひやってみたいと思ったのがきっかけでした。

ーお父さんは、ボランティアをはじめて約5年になるとありますが、長く続ける秘訣はなんですか？

伸:最初はおもちゃと馬鹿にしましたが、やればやるほど奥が深く、また、子供の目の前で壊れたおもちゃを修理してあげた時、子供から"ありがとう"と言われた時の嬉しさや、自分が修理出来た達成感を味わえる事が長く続けられる秘訣かもしれません。

ー寛昭さんは、主に16ミリ映画の映写をしていただいています、もう慣れましたか？

寛:ぜんぜん駄目です。先月も映写を担当させていただきましたが、音量、フォーカス、映写位置等、合わせたくもりでも本番の時に上手くセットできないことばかりです。映画を楽しみに来てくれるちびっ子達に、喜んでもらえるように努



力はしているのですが...それでも、父がそばに居てくれたので、少しは安心です。

ー亜祐美さんは、今年の4月に登録したばかりで、

先日の熱気球のお手伝いが始めてでしたが、活動をして初めての感想は？

亜:はじめての活動でしたので、きちんとお手伝いができるか不安でしたが、当日活動をしてる中で熱気球に乗船した子ども達の満足そうな顔を見て、私自身うれしさを感じました。

ー寛昭さんと亜祐美さんは、ボランティアに出かけるお父さんの姿を、ずいぶん前から見ていたと思いますが、どう思っていましたか？また、今はどう思いますか？

寛:父におもちゃを直して欲しいと言っても直してくれないのは何でだろう、ズルイと思っていましたが、ある時届け物を届けに行ったとき父は忙しそうにしていた。朝早くから夜遅くまで仕事が大変なので、休めるときには休んでもらおうと思ってます。

亜:最初はボランティアってどのようなことをしているのだろう?と思っていましたが、父からボランティア活動の内容について聞き、少し変わったような気がした反面、父は仕事が忙しくて、土・日しか一緒にいられないという状況だったので、やきもちをやいていました。しかし、今は良きボランティア先輩として尊敬しています。

ーボランティアを始めたお子様ふたりに、

ボランティアの先輩であるお父さんから一言。

伸:チョボラの気持ちを大切にしてください。自分が出るちょっとした協力を、勇気を持って行う気持ちをこれからも忘れずにいて欲しい。

ー今後の抱負を聞かせてください。

伸:親子でボランティアを何時まで出来るかわかりませんが、仕事の関係で、家族との会話が少なくなっている傾向があるため、ボランティア活動を親子のコミュニケーションの共通話題に出来ればと考えています。

寛:今年2年目になりましたので1年目より2年目とがんばろうと思っています。

亜:まだボランティアを始めたばかりでわからないことばかりですが、自分にできることをお手伝いできたらいいなあと思っています。

いろいろお答えいただきありがとうございます。これからも家族のふれあいを大切にしながら、活動を続けていってください。今度は奥様もぜひお誘いしてみてくださいね。

紹介します

玉村町立中央児童館



■玉村町立中央児童館

〒370-1105 佐波郡玉村町福島533-2
TEL.0270-64-1400

〈開館時間〉9:00~12:00、13:00~18:00
ただし第3木曜は13:00~18:00

玉村町立南児童館



■玉村町立南児童館

〒370-1127 佐波郡玉村町上之手2021-3
TEL.0270-64-7654

〈休館日〉日曜日、祝日、年末年始
※開館時間、休館日は2館共通

このコーナーは、県内の児童館を紹介します。
楽しい行事や特色ある遊具などをお話していきます。

玉村町では小学校区ごとに5館の児童館が設置されています。今回はこの中から中央児童館と南児童館を訪ねてみました。

中央児童館に取材にお伺いした時間にはリトミックが行われていて、小さな子どもとお母さんが元気いっぱい体をうごかしていました。指導されている反町先生はご近所のピアノの先生で、ボランティアとして月に1度この児童館で活動しています。

「楽しく遊ぼうプレイングルーム」では様々なことにチャレンジしたり、「昔遊びクラブ」では地域のお年寄りに遊びを教わったり、一緒にたくわんを漬けたりと魅力的な催しが年間を通じてたくさんあります。館内には図書室などの他口フツがあり、小学生達のひみつの場所になっているようです。

県立女子大のすぐ近くにある南児童館は吹き抜けの明るい建物で、天井近くにあるかわいいステンドグラスが印象的です。

普段から誰もが気軽に遊びに来るようで、この日もお母さんと小さい子ども達の楽しそうな声が館内に響いていました。また、現在子ども達の間で泥団子作りのブームが起きているようで、庭の芝生がちよっとずつ剥げてきています。こんな様子を笑って見守っている先生方のおおらかさや優しさが伝わってきました。

2つの児童館とも中学生がやって来て、小さい子どもの遊び相手や面倒をみってくれるそうです。

玉村町では全ての児童館で、町の掲げる世代間交流をテーマに、町に登録している子育て応援隊など、様々な世代の人たちが協力して行事を行っているほか、近隣の高校生や大学生もボランティアとして児童館活動に参加するなど、地域との良い関係も結ばれています。

また児童館どうしも協力してホームページ(結構凝ってます)を作るなど、連携プレイもお見事。こんな玉村町の児童館、ぜひ遊びに行ってみてください。



リトミック

友の会だより



6月1日(日)に、第1回友の会事業「みんなで作ろう!おいしいうどん」を数塚本町にある県立東毛少年自然の家で開催しました。あいにくの雨の中での活動でしたが、子ども達は巨大ナメコを見つけたり、小さなカエルを見つたりと雨ならではの自然に触れ元気いっぱいでした。

うどん作りは、家族みんなで粉をコネて、足で踏んで、包丁で切って…。どの家族も失敗せずにコシのあるおいしいうどんができあがり、味は格別でした。

さて、秋には施設見学会を計画しています。会員のみなさん、どんなところへ行くのか楽しみにしててくださいね。

入会に関する事等、お問い合わせ
ぐんまこどもの国児童会館友の会事務局(指導課)
TEL.0276-25-0055

編集後記

夏休みは、クラフトルームで工作して、「ラ・ビレット展」で自由研究。勉強でわからないことがあったら、こども相談室へどうぞ! そのあとたっぷり遊べます。ぜひ児童会館をフル活用してください。